

2019 年度
神戸大学大学院経営学研究科（専門大学院）

「MBA ゼミ」シラバス

授業科目 MBA ゼミ（社会人大学院科目）
担当教官 三品和広
開講日 9月21日、10月26日、2月1日、3月7日、4月以降は指定土曜日
8時50分～18時30分
教室 六甲台キャンパス

I. 授業のテーマと目標

ゼミの到達目標は、自社の経営陣、もしくは上司を唸らせるような修士論文の執筆にあります。アカデミックな審査員を意識して書く修士論文というよりは、自社の経営に関する建議書と読み替えたほうがよいかもしれません。

私のゼミで扱うテーマは、経営戦略です。平たく言えば、自社、もしくは自社内の特定事業の長期的な発展を、どのように構想するのか、そのために何をどう変えるべきなのか、変えるために如何なる手を打っていくのか、想定と異なる展開に入ったときに如何に対処するのか、そのあたりを詰めに詰めていくことになります。観念論では説得につながりにくいので、私のゼミでは戦略の5W1Hにこだわります。

II. 教科書・参考書

観念論を排して実戦論に限定すると、以下が基本リストになります。他の参考文献はゼミのなかで適宜紹介します。

- Porter, E. Michael, “Competitive Strategy: Techniques for Analyzing Industries and Competitors.” New York: Free Press, 1980.
- Porter, E. Michael, “Competitive Advantage: Creating and Sustaining Superior Performance.” New York: Free Press, 1985.
- Mintzberg, Henry, “The Rise and Fall of Strategic Planning.” New York: Prentice Hall, 1994.
- Ghemawat, Pankaj, “Strategy and the Business Landscape: Core Concepts” Upper Saddle River, NJ: Prentice Hall, 2001.
- Mayo, J. Anthony and Nitin Nohria, “In Their Time: The Greatest Business Leaders of the Twentieth Century,” Boston, MA: Harvard Business School Publishing, 2005.
- 三品和広『戦略暴走』東洋経済新報社、2010年
- 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年
- 三品和広『経営戦略の実戦3：市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2018年

論文の書き方という面においては、以下が基本リストになります。

- 三品和広『ハンドブック経営学』第1章、ミネルヴァ書房、2011年
- 三品和広・坂口穂波『MBA 修士論文のあるべき姿』季刊ビジネス・インサイト、Vol.25No.3（2017）

III. 成績評価の方法

成績は修士論文の出来映えで決めます。

IV. 講義のスケジュール

M2 の修論指導が一巡したのでシラバスを改訂しました。新旧混同に気をつけてください。

[01] 9月21日1限 マインドセット（1）：この日はアカデミア504教室に集合してください。

講義内容： 修士論文を書き終えた M2 ゼミ生の体験と反省を共有します。
必読文献： 三品和広・坂口穂波『MBA 修士論文のあるべき姿』季刊ビジネス・インサイト、Vol. 25No. 3 (2017)
事前課題： 自分の修士論文に関する構想を張り巡らせておいてください。

[02] 9月21日2限 マインドセット（2）

講義内容： 1限の続きを行います。

[06] 10月26日1限 経営戦略論（1）：この日は三木 III に集合してください。

講義内容： 建議の前提となる経営戦略の理解を深めます。この時間は日本企業の戦略形成にまつわる欠陥を詳説します。
必読文献： 三品和広『戦略不全の論理』東洋経済新報社、2004年
事前課題： 必読文献をスキムしておいてください。

[07] 10月26日2限 経営戦略論（2）

講義内容： この時間は事業立地概念が生まれた背景を詳説します。
必読文献： 三品和広『戦略不全の因果』東洋経済新報社、2007年
事前課題： 必読文献をスキムしておいてください。

[08] 10月26日3限 経営戦略論（3）

講義内容： この時間は日本企業の戦略形成にまつわる欠陥を1限とは異なる角度から詳説します。
必読文献： 三品和広『戦略暴走』、東洋経済新報社、2010年
事前課題： 必読文献の序章、ケース 001、終章を熟読しておいてください。

[09] 10月26日4限 経営戦略論（4）

講義内容： この時間は高収益事業を創り上げてきた日本企業の事業立地戦略を詳説します。
必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年
事前課題： 必読文献の序章、各章解題部、終章を読んでおいてください。

[10] 10月26日5限 経営戦略論（5）

講義内容： この時間は占有率の逆転現象を詳説します。
必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦3：市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2018年
事前課題： 必読文献の序章、各章解題部、終章を読んでおいてください。

[11] 2月1日1限 建議（1）：この日も三木 III に集合してください。

講義内容： 建議の実例を多角的に吟味してみます。この時間はキャノンの賀来龍三郎に焦点を合わせます。

必読文献： 三品和広編著『経営は十年にして成らず』東洋経済新報社、2005年

必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年

必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦3：市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2018年

事前課題： 必読文献の該当箇所および賀来氏の『私の履歴書』を熟読しておいてください。

[12] 2月1日2限 建議（2）

講義内容： この時間は花王の丸田芳郎に焦点を合わせます。

必読文献： 三品和広編著『経営は十年にして成らず』東洋経済新報社、2005年

必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年

必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦3：市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2018年

事前課題： 必読文献の該当箇所を熟読しておいてください。

[13] 2月1日3限 建議（3）

講義内容： この時間は信越化学工業の金川千尋に焦点を合わせます。

必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年

事前課題： 必読文献の該当箇所および金川氏の『私の履歴書』を熟読しておいてください。

[14] 2月1日4限 建議（4）

講義内容： この時間はアサヒビールの松井康雄に焦点を合わせます。

必読文献： 松井康雄『たかがビール されどビール』日刊工業新聞社、2005年

事前課題： 必読文献（入手が難しいので、貸し出し用の本を人数分だけ用意してあります。教務を訪ねてピックアップしてください）を読み込んで、著者の建議の巧拙について自分の考えをまとめておいてください。

[15] 2月1日5限 建議（5）

講義内容： この時間は4限の続きを行います。

[16] 3月7日1限 時機（1）：この日も三木 III に集合してください。

講義内容： ゼミ生全員に自事業をとりまく事業環境の変化について15分の発表をしてもらいます。

必読文献： 三品和広・山口重樹『デジタルエコノミーと経営の未来』東洋経済新報社、2019年

参考文献： 三品和広『センサーネット構想』東洋経済新報社、2016年

参考文献： 三品和広『どうする？日本企業』東洋経済新報社、2011年

事前課題： 15分の投影資料を用意しておいてください。

[17] 3月7日2限 時機（2）

講義内容： 1限の続きを行います。

[18] 3月7日3限 時機（3）

講義内容： 2限の続きを行います。

[19] 3月7日4限 時機（4）

講義内容： 3限の続きを行います。

[20] 3月7日5限 時機（5）

講義内容： 4限の続きを行います。

なお、3月7日には希望副査を尋ねます。そのつもりでいてください。

4月以降は個別面談方式に切り替えて建議書の作成に集中しますが、各日の冒頭に全員集合の機会を設けて、共通留意事項を伝達します。3月7日は5限の終わりに次回に向けたインストラクションをアナウンスします。